



決勝レポート

2023/5/21 Rd-4 AUTOPOLIS

天候：晴れ 気温：26℃ 出走台数：22台

観客数：20日(土)3,700人 21日(日)6,000人 合計9,700人

週末を通して好天に恵まれたオートポリス、昨日よりさらに気温は上がり、スタート時点で気温24度、路面温度は40度近くまで上昇した。

牧野選手はポジション維持の7番手で、太田選手は2台をオーバーテイクし18番手でオープニングラップを周回。ペースを上げたい牧野選手だが、オーバーテイクのし難いオートポリスで先行車のペースに付き合わされる格好。レースペースの良い太田選手も同じ状況だったため、チームはピットウィンドウのオープンした10周目に牧野選手と太田選手を共にピットに呼びダブルストップでタイヤ交換を済ませる戦略をとる。牧野選手のピットストップは完璧にきまったが、続く太田選手のピットストップでリアジャッキのシステムトラブルが発生、大きくタイムロスをしてしまうことに。タイヤ交換後の牧野選手は、アンダーカット戦略が功を奏しタイヤ交換組のトップへ。しかし、13周目にタイヤ交換したローソン選手、更に14周目にタイヤ交換した坂口選手が牧野選手の前でコースイン。すでにタイヤが温まっている牧野選手は接触ギリギリのバトルを仕掛けるも、タイヤの温まりが早いオートポリスでは攻略に至らずタイヤ交換組の3番手で周回を続ける。太田選手は好ペースで順位を取り戻そうとするが、ストレートの速いアレジ選手を攻略できない周回が続いていた。コースアウト車両発生のため29周目にセーフティカーが導入されると、ステイアウト組は一斉にピットイン。2台が牧野選手の前でコースに戻り、牧野選手5番手、太田選手は15番手。34周目にリスタートが切られると、フレッシュタイヤの平川選手が一気に牧野選手に迫る。牧野選手は巧みにブロックするも防げず6位で、太田選手は16位でレースを終えた。

5：牧野任祐 選手 6位

戦略もレースペースも良くて、ただ想定よりもステイアウト組のトラフィックに引っかかってしまう時間が長くてそのロスが大きかったです。ローソン選手、坂口選手のアウトラップ時に攻略できなかったのも痛かったです。トップとはまだまだ差があるものの、結果以上にポジティブな内容でしたので、この方向を更に煮詰めて次戦菅生に臨みます。

6：太田格之進 選手 16位

予選から決勝に向けて大きくセットアップを変えたことがポジティブな方向に向いて、得るものの大きい週末になりました。予選の失敗で後方からのスタートとなり、ポイントも取れませんでした。次戦に向けて糧となるレースでした。

色々悩んでいる部分もあったのですが、光が見えてきたという気持ちです。

次戦菅生でまずは予選をしっかりとまとめ、ポイントそして表彰台を目指したいです。